



交通安全市民会議 ミュース



横断前の「ひと呼吸」が命を守る

時間に迫られ、急いでいる時ほど事故は起きやすいものです。

そんな時に歩行者が意識したいのが、横断前の「ひと呼吸」です。



○ 車の動きを冷静に見極められる

焦って横断歩道を渡ろうとすると、遠くの車を「大丈夫」と認識してしまうことがあります。

ひと呼吸おくことで、車の速度や距離を落ち着いて判断することができます。



落ち着いて
安全確認！

○ ドライバーに“横断者がいる”と気づかせられる

歩行者が止まり、ドライバーの方を見ることで、「渡るかもしれない」と注意を促すことができます。

その結果として双方にアイコンタクトが生まれ、安全確認の判断が一致しやすくなります。

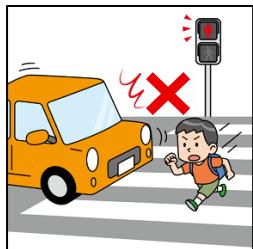


「ひと呼吸」は、心のスピードを落とし、慎重な行動へと切り替えるスイッチです！

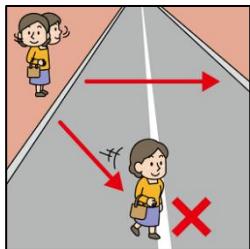
遅れない ことより大事な その命

歩行者にも交通ルールを守る義務がある

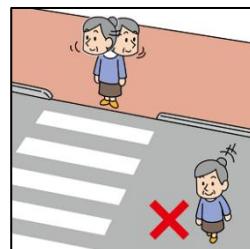
これらの歩行者の交通違反が事故の原因となることがあります。



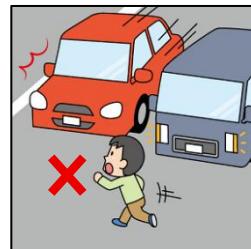
信号無視



斜め横断



横断歩道外横断



車両の直前直後横断

事故を防ぐには、歩行者も交通ルールを守り、安全な行動を心がけることが大切です。

光を身に着け、ドライバーに気づいてもらう

歩行者 LED ライトなし
自動車 ロービーム



街灯が少ない道路では、
歩行者の姿は見えづらい。

ロービームだと歩行者の
姿は確認できません。

歩行者 LED ライトあり
自動車 ロービーム



ヘッドライトが当たらなくて
も歩行者自身が光っている。

ロービームでも、歩行者に
早く気づくことができます。

LED ライトは、自発光するため歩行者が“歩く照明”となり、事故回避の可能性がぐんと上がります。

反射材を身に着けることも、事故リスクを下げる効果的です。

夜間から早朝は、光って目立とう！

